

小中一貫教育の推進

小野市では、平成28年度より市内の全ての小・中学校が中学校区毎の小中一貫校になりました。9年間の教育目標設定、系統的な教育課程の編成等、学校・家庭・地域が一体となって主体的かつ協働的な教育を創造していきます。

旭丘中学校区9年間の教育目標

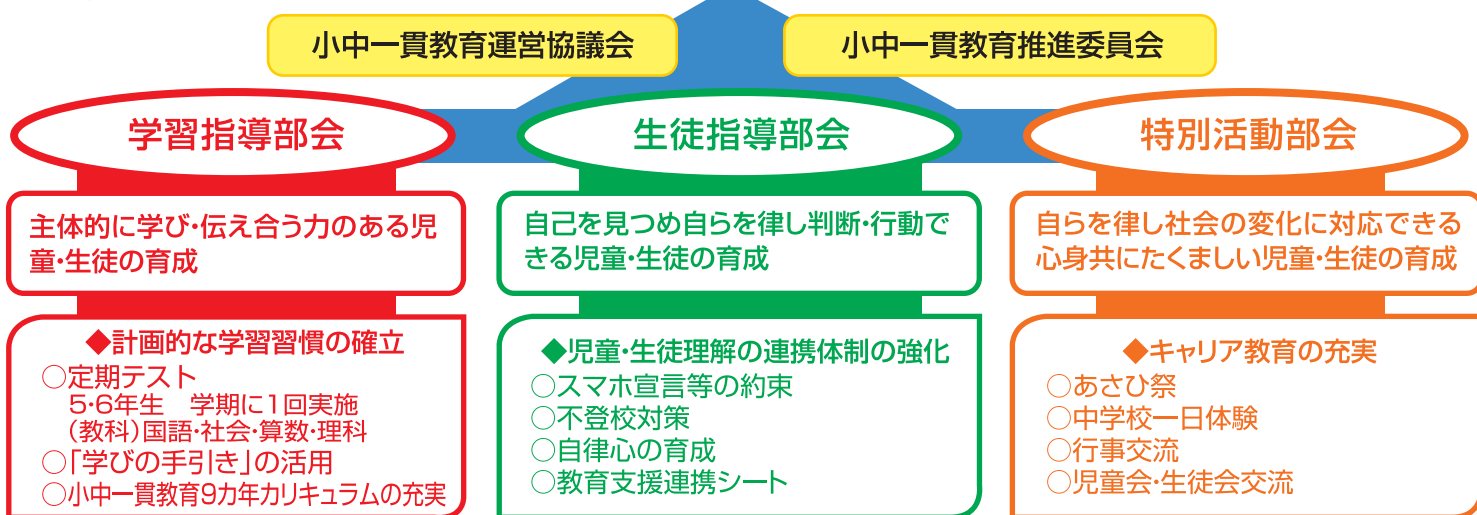
社会的自立への基盤づくり

～ 互いに磨き合い、たくましく、心豊かな人づくり ～

◆9年間の児童・生徒の学び



◆組織体制と部会の主な取組



旭丘中学校区小中一貫教育 Q&A

Q1 小中一貫教育とは、どのような教育ですか？

A1 小学校から中学校までの9年間を見通し、一つの学校として児童・生徒の教育にあたるということです。小学校は小学校、中学校は中学校と考えるのではなく、小学校から中学校までという、より長期的な視野から捉え直し、児童・生徒にとってよりよい教育を目指していくものです。

Q2 中学1年生が7年生となったと聞きましたが、それはどういうことですか？

A2 中学校での学年の呼び方を変更しました。

小中一貫校として小学校から中学校までを考えたとき、誰もが意識しやすく捉えやすくするために中学校の学年の呼び方を変更しました。中学1年生を7年生、中学2年生を8年生、中学3年生を9年生と呼んでいます。

Q3 旭丘中学校区の小中一貫教育では、どのような取組をしているのですか？

A3 以下のような取組をしています。

中学校一日体験の実施



6年生が授業や給食、掃除など、先輩とともに中学校の校舎で1日を過ごしています。

「あさひ祭」への参加



中学生の学習発表や合唱コンクールにふれるとともに、6年生自らが3小学校合唱で参加する「あさひ祭」。また、3小学校の学童展作品も展示し、文化的交流を図っています。

小学校マラソン大会への参加



旭丘中学校の生徒が3小学校に分かれ、小学校のマラソン大会に参加し、伴走を務めています。

小学校運動会への参加



旭丘中学校吹奏楽部が、小学校の運動会に参加し、開会式でのオープニング等の演奏を行っています。(H28年度下東条小)

授業交流週間の実施



教職員が互いの学校に出向き、相互に児童・生徒の様子を観察し情報交流を行っています。(1学期、2学期の1週間)

定期テストの実施



5・6年生が①主体的・計画的に学習を進める力の育成②確かな学力の定着③中学校のテスト準備等に慣れることを目標に実施しています。

「学びの手引き」の活用、中学校の「学び方」理解の推進



5・6年生に「学びの手引き」を配布し、中学校での「学び方」理解と中学校生活への見通しを持てるようにしています。

修学旅行交流会の実施



中学校でのよりよい出会いのため、小学校の修学旅行で3小学校が一堂に会し、交流を深めています。

小中授業研究会の推進



小中学校の教員が、児童・生徒の学力向上を図るため、授業改善について研究しています。

小学生にとってスムーズな中学校への移行はできないものか。今、子どもの成長に即した「学びのつながり」の重要性が言われています。子どもの健やかな成長をサポートできるよう、旭丘中学校区の小中一貫校として校区全体の子どもを育てていきます。